

九条の樹 74号

2018年9月発行

東久留米「九条の会」ニュース

発行：東久留米「九条の会」

連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）

ホームページ：<http://higashikurume-9.net>

メール：higashikurume9@jcom.home.ne.jp



第九条
1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法の平和、民主主義原則傷つけた 安倍内閣の責任は重い

9・30 第4次集約めざし 3000万人署名を進めましょう

在日米軍、防衛省は10月1日からcv22オスプレイを、東京横田基地（福生市など5市1町）に配備すると発表しました。すでに横田基地周辺では4月以降300回の離発着が行われていると言います。大半が夕方から夜間9時までに行われています。（平和委員会発表）沖縄と並んで首都圏の横田基地が訓練拠点とされることとなります。

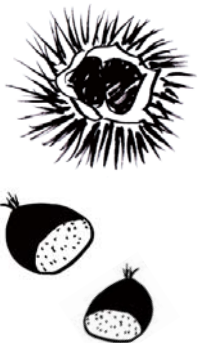
オスプレイは相手国の奥地深くに侵入し、要人襲撃や捕虜救出などを行っている特殊作戦用ヘリです。沖縄の新基地建設を強行的に進める安倍内閣にとって、オスプレイの横田配備など何も問題ないのでしょうか。この部隊配備を認めることは周辺住民の生命財産を脅かすとともに、憲法9条の明白な違反です。

安倍首相は12日、次の国会で自衛隊の明記を盛り込んだ憲法9条改定案を提出すると発言しました。集団的自衛権行使容認の閣議決定や沖縄新基地押し付けなど、アメリカ言いで憲法の平和原則を投げ捨てて

きた首相の総決算が9条改定です。「現状は何も変わらない」と首相は言いますが、憲法に正式に位置づけられた自衛隊が堂々と大幅な予算増加を求め、社会的地位を高めることは戦前のすがたを思わせます。これだけ民意を無視して恥じない首相、憲法を傷つけた首相は過去にありません。

九条の会では安倍首相の九条改憲反対の全国3千万人署名活動に参加しています。東久留米九条の会は皆様の協力で現在約3000筆の賛同を得ています。（全国で約2千万筆）第3次集約として9月末国会提出をめざし全国で取り組まれています。

「憲法を守る」は政府の責務です。戦争はしない、国民から選ばれた議会にうそはつかない、この根幹が崩れてしまった政治をいま、変えるときです。



原水爆禁止2018世界大会広島に参加して



8月6日、被爆から73年目の原爆の日を迎え、ました。東久留米からは、16歳、38歳、51歳、71歳、83歳がそろって早い朝食を済ませ、平和祈念式典に参加しました。世界各地から来られた方々をはじめ、全国からの参加者の中で式典が行われました。

松井広島市長は、日本政府に対して「憲法の平和主義を体現するためにも、核のない世界に向けた対話と協調を進める役割を日本政府に果たせ」と主張しました。

アベ首相は核禁止条約には触れずに、「核廃絶には核兵器保有国と非保有国双方の協力が必要だ。非核三原則を堅持しつつ、双方の橋渡しに努める」との発言だった。73年たった現在も苦しい日々を過ごしている方々、被爆者健康手帳さえも認められず、いまだに戦っている方々がいるなかで、

白々しく紙を読み上げる姿には、憎々しくていたたまれませんでした。

6日朝8時15分も73年前と同じように青い空、にぎやかな蝉の音の中で、首筋から足先までスーッと汗を流しながらの式典でした。アベの発言を聞いてみんなでブウブウ言い合いました。

閉会式では、『核の傘』に依存するアベ政権を退陣へ追い込みましょう。被爆者とともに、若い世代とともに未来を切りひらこう」と、広島からの呼びかけがあり、原水爆禁止2018年世界大会広島決議をしました。皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。

(浅間町 糸魚川知子)



- 東久留米「九条の会」13周年のつどい 10月6日(土)
- 成美教育文化会館グリーンホール 協力券500円

☆講演会：「いま、日本と憲法を読む」
「佐高信」氏(評論家・週刊金曜日編集委員)。
歯に衣着せぬ物言いで、核心をズバツと突くお話にご期待を!

☆講演前のオープニングタイムには「岡大介」さん。カンカラ三線を手にして「かんからそんぐ」として社会風刺演歌を歌う。



佐高信



岡大介

道徳の教科化のねらいは？

塚田 勲（滝山）

◆安倍晋三氏の二つの執念

一つはもちろん九条改憲ですが、もう一つが道徳の教科化です。第一次安倍政権（2006.9～2007.8）の「教育再生」政策の目玉の一つでした。教育基本法の改悪は強行しましたが、道徳の教科化となると、中教審も文部科学省も首を縦にふりませんでした。第二次政権になってから、中教審をねじ伏せて強行突破しました。道徳の教科化は、小学校ではこの4月から始まり、中学校では来春から始まります。

◆子どもたちは、国が定めた22の徳目を身につけよ

道徳が教科になると、子どもたちは教科書に沿って学ぶことになります。成績がつけられます。先生は子どもの「道徳性の成長」を評価して通知表に書きます。今までの「道徳」は、教科ではなかったもので、その副読本を先生は使っても使わなくてもよかったですし、成績などつけることもありませんでした。

まず。ほぼ同じ徳目を小1から中3まで繰り返し学びます。▼22の徳目には、「平和を守る」「環境破壊」「人間の尊厳に関わるもの（ヘイトスピーチなど）」は含まれていません。▼道徳性の成長を評価するために、先生は子どもの内心に踏み込むことになりかねません。

◆教科書に載せられた題材から一つ

杉原千畝は、多くの教科書に登場します。「希望のビザ」という表題で。ある教科書は、検定申請のときには、日本はドイツと防共協定を結んでいたのでからビザを出すのは難しい立場にあると書きましたが、日本の外交政策を誤解すると、日本の検定意見がついて、「数人分ならよいが、大勢の人たちに出すのはむずかしい」と修正されました。ナチスドイツと手を組んでいた当時の日本についての説明を削って、「外国のために力を尽くした日本人」がいたことにしてしまいまし

た。ビザ発行禁止という外務省の命に反した杉原が戦後外務省を辞めざるをえなかったことも抜きに（名誉回復は数十年も後に）。

子どもたちが世界史の流れを学びながら、杉原の道徳性を考えることはさせないので。杉原が当時の政府の意向になぜ逆らったのかを考えさせないで、「正義」「勇氣」などの徳目を教え込もうとしています。

◆中学教科書の採択は終わりましたか・・・

▼市教委には、展示会に出されたすべての教科書を中央図書館に開架するよう要求しています。

▼改めて教科書を手に取って、何人かで話し合っって、「深刻な内容」を市民に広めていきましよう。

▼実際に教えている小学校の先生や中学校の先生方と話し合う機会をつくっていきましよう。

(2018.8.25)

自民党改憲草案を読む！⑨

「家庭」に介入する国

第24条

現行

1 婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

2 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

草案
(家族、婚姻等に関する基本原則)
1 家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない。

2 婚姻は、両性の合意に基づいて成立し、夫婦が同等の

権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

3 家族、扶養、後見、婚姻及び離婚、財産権、相続並びに親族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

「個人の尊厳」と「両性の本質的平等」を掲げる憲法24条改定の狙いと影響はどこにあるのでしょうか。

1に新設された条文は、おせっかいなことに「家族は、互いに助け合わなければならない」と、こんな事まで憲法に書き込んでいます。家族の形はそれぞれ多様であるのに、憲法にまで入れて、こうあるべきだとする必要があるのでしょうか。また、「婚姻は両性の合意のみに基づいて」から

たった2文字「のみ」が削除されたことで、二人以外の介入をほのめかしています。「配偶者の選択」「住居の選択」が削除されていることからすれば、これらは個人の自由で選択せず、配偶者の選択も、住居の選択も家族の意見に従えということになりかねません。個人より家族が大事、大日本帝国憲法時代の家制度への逆戻りです。

家族助け合い義務では、「福祉」は国民が、租税で負担するのではなく、家族や社会が引き受けるべきだ、という基本的な考え方(自民党)の反映であり、福祉の切り捨てを推進することで、その分軍事費がますます増えることが想定されます。

13条で人権を、24条で個人の尊厳、両性の平等を制限し、個人より国家が大事。やがてそれは以前のような「戦争でできる国」へと変身してしまうでしょう。

(下里 大山)

◆《平和を考える本》

『ある奴隷少女に起こった出来事』
出来事』
(ハリエット・アン・ジェイコブズ／著



(新潮文庫)

本書は1861年に刊行され、130年の時を経て再発見された、奴隷少女自身による手記・実話である。アメリカ南部、好色な医師の奴隷となった少女は、卑劣な虐待が続く中で逃亡を決意。自由黒人の祖母の屋根裏に7年間潜んだ末に脱出、やっと自由をつかみ取る。

「私には夢がある」と、人種差別のない社会の実現を訴えたキング牧師が暗殺されて50年。黒人初の大統領も誕生したが、大統領が変わって、「夢」の実現がまた遠のきつつある。覚悟が問われる時代に來ている。(高田)